

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 7151

件 名	ライスセンター外装改修工事	
履行場所	海老名市大谷 306 番地	
工 期	令和 7 年 9 月 19 日～令和 8 年 1 月 30 日(134 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	20,163,000 円 (税込)	18,330,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	020 建築一式 経審 - 点以上 - 点未満		○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円（建築一式工事の場合は8千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分		第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く 本市発注の建築一式工事において、過去5年間、工事評定で6.5点未満の工事がないこと。		
	落札件数制限	あり（第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。		
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> （2） <u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3） <u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 （システム添付）		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書（工事入札時システム添付）」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>		
落札候補者が提出する書類 （FAX046-232-6574）		開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。） ○配置技術者等に関する書類		

○建設業許可の確認できる書類

※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び
保険者番号（3箇所）にマスキング(黒塗り)をして提出してください。

ライスセンター外装改修工事

内容説明事項書

海 老 名 市

1. 工 事 名 称 ライスセンター外装改修工事
 2. 工 事 場 所 海老名市大谷306番地
 3. 工 事 概 要 ライスセンター作業所の外壁及び屋根等の防水改修工事等を行うもの。
 ■ 工事内容
 ・直接仮設工事
 ・防水改修工事（外壁、屋根等）
 ・塗装改修工事（銅製建具、笠木、水切、鉄骨柱梁、配管、壁面ボツクス等）
 ・建具改修工事（建具廻り、ガラス止めシーリング 打ち替え、建具清掃等）
 ・その他工事（堅樋等交換、外部キャットウォーク撤去、基礎欠損部分等補修、フェンス門扉改修及びその他上記工事に伴う付帯工事一式）
 4. 工 事 期 間 令和7年9月19日 から 令和8年1月30日 まで
 5. 設 計 図 書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする
 (1)設 計 図 13 枚
 (2)内容説明事項書（本書・環境配慮マニュアル） 5 枚
 6. 数 量 書 (1)数 量 書 19 枚
 ※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。
 7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
 8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
 9. その他の事項

項 目	適 用	内 容 等	備 考
(4) 仮設関係			
①仮設計画	☒ 有 ☐ 無	図示	・受注者において、発注図の仮設計画図を参考に作成し、事前に施設管理者及び市担当者等の承諾を受けること。 ・隣地内（敷地西側）への足場等の設置や、足場設置に伴う隣地内樹木の枝払い等を実施する際には、事前に隣地所有者の承諾を得ること。 ・工事期間中も敷地西側隣地は使用中であり、隣地所有者等の通行があるため、十分な安全対策等を施し、安全の確保を図ること。
②交通誘導員	☒ 有 ☐ 無	数量書による	
③工事用電力、水の利用	☐ 有 ☒ 無	受注者対応	
④濁水・湧水処理における特別な対策等	☐ 有 ☒ 無		
(5) 支給品			
①支給品について	☐ 有 ☒ 無		
(6) 建設副産物関係			
①建設発生土	☐ 有 ☒ 無		
②建設副産物 建設廃棄物	☒ 有 ☐ 無	数量書による	
③その他 (特別産業廃棄物等)	☐ 有 ☒ 無		
(7) 各種調査、使用制限			
①各種調査	☐ 有 ☒ 無		
②使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	☒ 有 ☐ 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること（F☆☆☆☆使用）。
(8) 現場対応			
①現場照査等	事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に市監督員と協議し、確認をとること		
②公衆災害	本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること		
③原形復旧	工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること		
(9) その他			
①適用基準等	☒ 海老名市ホームページ「海老名市公共工事共通事項書」1、適用図書による。 ☐ ☐ ☐		
②工事完成図書	☒ 海老名市ホームページ検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる ☒ 海老名市ホームページ営繕課担当事務 「営繕工事 工事提出書類作成等の手引き」による		
③海老名環境マネジメントシステム	市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること		
④法定外の労災保険の加入	本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること。		
⑤施工時期・時間等	現場施工については、原則、水田の渇水期（11月から2月までの間）に行うこと。		
⑥工事完成時期	現場施工は、令和8年1月16日までに完了させるよう努めること。		
⑦敷地の周辺状況	敷地周辺状況（隣地内設置物、樹木、その他構造物等）を事前に調査・記録し、本工事による被害を与えないこと。		

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑 ②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等 ②埋蔵文化財
	(6)景観	①その土地の現在の景観 ②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観 ③道路等、都市基盤施設がもたらす景観
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源 ②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境 ②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境 ③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系 ②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系 ③土木工事により影響を受ける地下水
	(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面
	(5)建設副産物	①排出土 ②コンクリートガラ ③アスファルトガラ ④伐採材 ⑤まだ使用可能な製品 ⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず ⑦不要木材 ⑧PCB等の毒性物質 ⑨その他の建設廃材
	(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼働による騒音 ②工事用車両走行による騒音 ③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音 ④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼働による振動 ②工事用車両走行による振動
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
	(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響
	(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境 ②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断 ③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境 ④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性 ⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性

□ 設計・施工時に配慮する事項

3. 建物建築・改修工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
掘 削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
搬出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
地 業	砂利地業では再生砕石を使用する。	2-(5)-②③
型 枠	鋼製型枠の使用を検討する。	2-(6)
鉄骨・鉄筋	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
金属類	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
木 材	集成材の使用を検討する。	2-(1)-②
雨水排水	雨水の集水桝に浸透型を使用する。	2-(3)-③
内 装	石膏ボードはリサイクル製品を使用しない（廃棄処分時に有害物質が発生する）。	2-(5)-⑧
	壁紙等はリサイクル製品を使用する。	2-(1)-②
	ホルムアルデヒド等の低使用製品を使用する。	2-(5)-⑧
断 熱	冷暖房施設の省エネのため、断熱構造とする。	2-(1)-① 2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

□ 設計・施工時に配慮する事項

令和7年度

数 量 書

工 事 名 称 ライスセンター外装改修工事

工 事 場 所 海老名市大谷306番地

工 期 令和7年9月19日から令和8年1月30日まで

工 事 概 要 ライスセンター作業所の外壁及び屋根等の防水改修工事等を行うもの。

■ 工事内容

- ・ 直接仮設工事
- ・ 防水改修工事（外壁、屋根等）
- ・ 塗装改修工事（鋼製建具、笠木、水切、鉄骨柱梁、配管、壁面ボックス等）
- ・ 建具改修工事（建具廻り、ガラス止めシーリング打ち替え、建具清掃等）
- ・ その他工事（堅樋等交換、外部キャットウォーク撤去、基礎欠損部分等補修、フェンス門扉改修及びその他上記工事に伴う付帯工事一式）

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事 別紙明細

[illegible]

[illegible]

建築工事 別紙明細

[illegible]

[illegible]

建築工事 別紙明細

[illegible]

[illegible]

建築工事 別紙明細

[illegible]

[illegible]

建築工事 別紙明細

[illegible]

[illegible]

建築工事 別紙明細

[illegible]

[illegible]

ライスセンター外装改修工事

■ 図面リスト

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
00	表紙・図面リスト	N. S
01	建築工事改修特記仕様書(1)	N. S
02	建築工事改修特記仕様書(2)	N. S
03	建築工事改修特記仕様書(3)	N. S
04	案内・配置図	N. S・1/400
05	1階平面図	1/100
06	屋根伏せ図	1/100
07	北側・南側立面図	1/100
08	西側・東側立面図	1/100
09	断面図	1/100
10	キープラン(平面図)・キープラン(立面図)	N. S
11	建具表・雑詳細図	1/50・1/100
12	仮設計画図(参考図)	1/200



図面名称	建築工事改修特記仕様書(1)	図面番号	
縮尺	N. S		O 1
件名	ライセンサー外装改修工事		

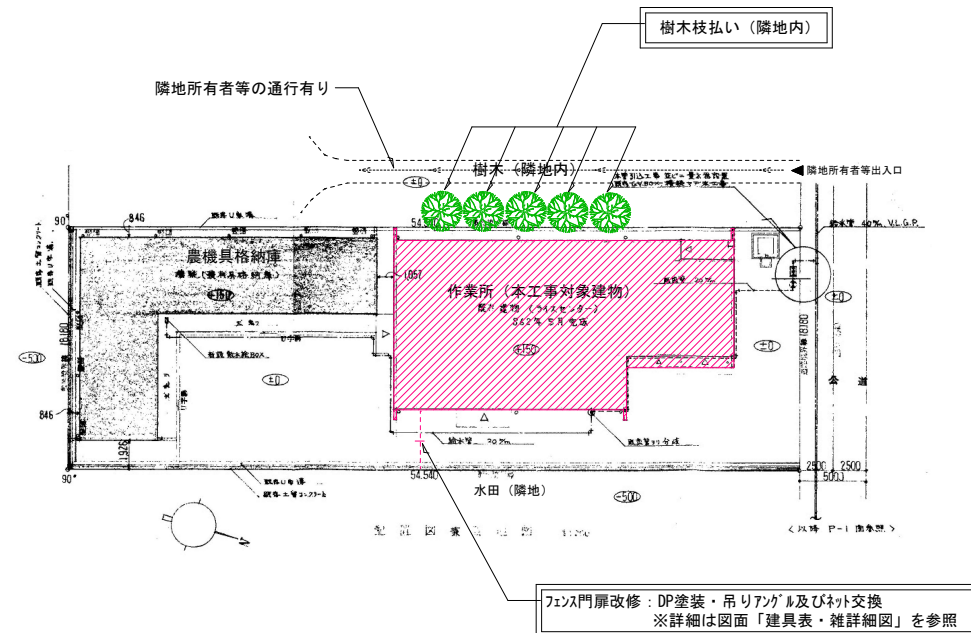
15. ガラス ブロック (中空)	ガラスの留め材 ※ シーリング ・ ガスケット (可動アルミ製建具に限る) 防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。 ガラスの溝幅については、〈表5.13.1〉による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示する。 接着剤の保証期間は引き渡し日より10年間とし、メーカー保証書を提出する。	表裏形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法 による区分 (長さ×高さ)	厚さによる区分	品質等 ガラスの種類 一般ガラス 乳白ガラス カラーガラス 熱線反射ガラス	柄 有・無	地色 白・グレー	金属枠 アルミニウム製 ステンレス	耐火性能 アルミニウム製 規定しない 有・分	(表面仕上)
6 内装 改修 工事	改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示の範囲	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁厚より厚み600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示の範囲	天井の撤去に伴う各部の壁面の改修 ※ 図示の範囲	合成樹脂塗床の除去方法 ・ 目荒工法 ・ 機械的除去工法 ・ 当該塗全体 ・ 図示の範囲	仕上の種類 ・ 平滑仕上 ・ 防滑仕上	材料の種類 ・ 厚膜型ウレタン ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床材 ・ 薄膜型ウレタン (エポキシ樹脂系塗床材)	仕上の種類 ・ 平滑仕上 ・ 防滑仕上	20. 畳敷き	21. 石こうボード その他ボード 張り
6 内装 改修 工事	既存床の撤去・下地補修	改修後の床の清掃範囲	既存壁の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修
6 内装 改修 工事	既存床の撤去・下地補修	改修後の床の清掃範囲	既存壁の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修
6 内装 改修 工事	既存床の撤去・下地補修	改修後の床の清掃範囲	既存壁の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修
6 内装 改修 工事	既存床の撤去・下地補修	改修後の床の清掃範囲	既存壁の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修
6 内装 改修 工事	既存床の撤去・下地補修	改修後の床の清掃範囲	既存壁の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修
6 内装 改修 工事	既存床の撤去・下地補修	改修後の床の清掃範囲	既存壁の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修
6 内装 改修 工事	既存床の撤去・下地補修	改修後の床の清掃範囲	既存壁の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修
6 内装 改修 工事	既存床の撤去・下地補修	改修後の床の清掃範囲	既存壁の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修	既存床の撤去・下地補修
6 内装 改修 工事	既存床									



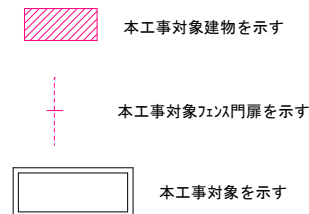


ライスセンター 海老名市大谷306番地

案内図 NS



配置図 1/400



【特記事項・各図面共通】

※作業所の内部には、米の乾燥機、米摺り機等が設置されているため、外壁シーリングの打ち換え等の際には、撤去材、壁材の落下や雨水侵入等が発生させることの無いよう細心の注意を払い施工すること。

※屋根及び外壁の中波スレートにはアスベストが含まれている可能性があるため、外壁シーリングの打ち換え等の際に破損や飛散等を生じさせることの無いよう細心の注意を払い施工すること。

- ・鋼製建具（両面）：
撤去及び新設（厚のみ）
新規面 素地ごしらえ（工程B種）
錆止め塗装のうえ（工程A種）
DP塗装
- ・既存建具枠：
塗替え面 下地調整、
錆止め塗装のうえ DP塗装

堅樋VU100A：撤去及び新設
※樋落とし口
樋受け金物共

上部キャットワーク：撤去

H鋼柱：下地調整、
錆止め塗装
のうえDP塗装

コンクリート基礎立上り
爆裂部分補修：
エポキシ樹脂モルタル充填工法
鉄筋部分下地調整、
錆止め塗装共

車止め：下地調整、
錆止め塗装
のうえDP塗装

コンクリート基礎立上り
ひび割れ部分補修：
エポキシ樹脂モルタル充填工法
鉄筋部分下地調整、
錆止め塗装共

コンクリート基礎立上り
爆裂部分補修：
エポキシ樹脂モルタル充填工法
鉄筋部分下地調整、
錆止め塗装共

コンクリート基礎立上り
ひび割れ・爆裂部分補修：
エポキシ樹脂モルタル充填工法
鉄筋部分下地調整、
錆止め塗装共

排水用目地新設（W20×D20 L=4,500）

本工事対象を示す

【特記事項・各図面共通】

※作業所の外部に面する鉄部（鋼製建具、柱、梁、
水切、笠木、盤類、配管ボックス、配管類、フード、
ルーフファン立上り等並びに図面表記がない箇所も含め
全ての鉄部）及びフェンス門扉は、全て下地調整、
錆止め塗装のうえ、DP塗装を行うものとする。

本工事対象を示す

-----外壁目地シーリング（打ち換え）を示す

【特記事項・各図面共通】

- ・外壁目地・建具周り等のシーリング：
※全て打ち換えを行うものとする。
※新設シーリングの仕様は変性シリコン系（MS-2）とする。
- ・コンクリート基礎立上りのひび割れ・爆裂箇所等
※ひび割れ、爆裂箇所はEポキシ樹脂モルタル充填工法にて補修する。
（鉄筋部分については、下地調整、錆止め塗装を施すこと）

笠木材-鉄板：
下地調整、
錆止め塗装
のうえDP塗装

横架材（鋼製）：
下地調整、
錆止め塗装
のうえDP塗装

笠木材-鉄板：
下地調整、
錆止め塗装
のうえDP塗装

外壁中波スレート：
水洗い工法（15MPa）の上
アクリルゴム系塗膜防水塗布

外壁目地シーリング：
撤去のうえ打ち換え（MS-2）

ルーフアン基礎立上り鉄部：
下地調整、
錆止め塗装のうえ
DP塗装

キャットウォーク（鋼製）：
撤去のうえ、
壁接統部分シーリング補修（MS-2）

・鋼製建具（両面）：
撤去及び新設（扉のみ）
新規面 素地ごしらえ（工程B種）
錆止め塗装のうえ（工程A種）
DP塗装
・既存建具枠：
塗替え面 下地調整、
錆止め塗装のうえ
DP塗装

アルミガラリ：清掃

外壁目地シーリング：
撤去のうえ打ち換え（MS-2）

外壁中波スレート：
水洗い工法（15MPa）の上
アクリルゴム系塗膜防水塗布

笠木材-鉄板：
下地調整、
錆止め塗装
のうえDP塗装

外壁スレート欠損部分：
シーリング補修（MS-2）

郵便ポスト：
下地調整、
錆止め塗装
のうえDP塗装

水切り：下地調整、
錆止め塗装のうえDP塗装

コンクリート基礎立上りひび割れ部分補修：
Eポキシ樹脂モルタル充填工法

コンクリート基礎立上り
爆裂部補修：
Eポキシ樹脂モルタル充填工法
鉄筋部分下地調整、
錆止め塗装共

入口アーチ鉄部：
下地調整、
錆止め塗装のうえ
DP塗装

コンクリート基礎立上り：
高圧洗浄（30～50MPa）

水切り：下地調整、
錆止め塗装のうえDP塗装

水切り：
下地調整、
錆止め塗装
のうえDP塗装

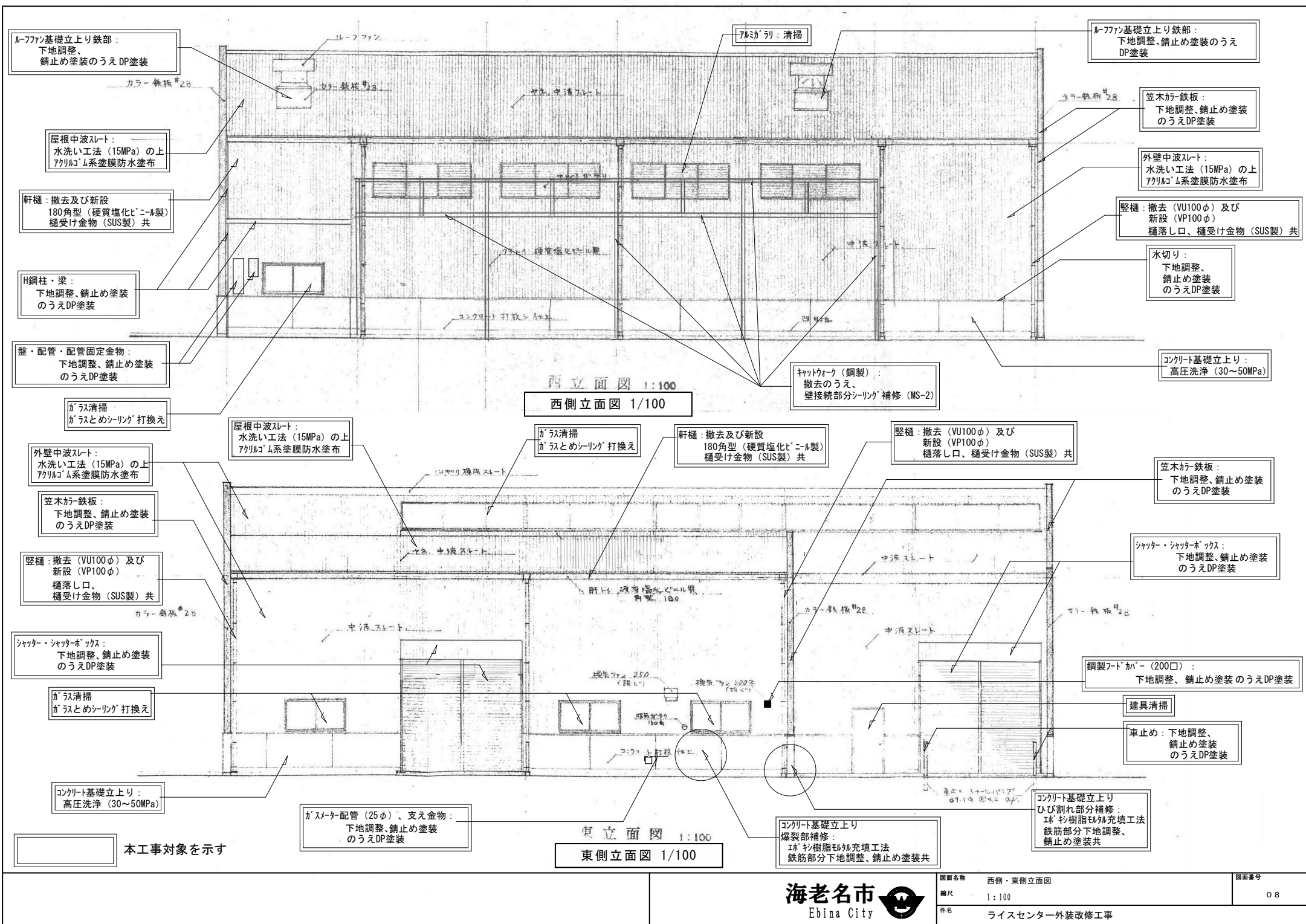
コンクリート基礎立上り
ひび割れ・爆裂部分補修：
Eポキシ樹脂モルタル充填工法
鉄筋部分下地調整、
錆止め塗装共

北側立面図 1:100

北側立面図 1/100

南側立面図 1:100

南側立面図 1/100



ルーフ基礎立上り鉄部：
下地調整、
錆止め塗装のうえDP塗装

屋根中波スレート：
水洗い工法（15MPa）の上
アクリルゴム系塗膜防水塗布

軒樋：撤去及び新設
180角型（硬質塩化ビニール製）
樋受け金物（SUS製）共

H鋼柱・梁：
下地調整、錆止め塗装
のうえDP塗装

盤・配管・配管固定金物：
下地調整、錆止め塗装
のうえDP塗装

ガラス清掃
ガラスとめシーリング打換え

外壁中波スレート：
水洗い工法（15MPa）の上
アクリルゴム系塗膜防水塗布

笠木カバー鉄板：
下地調整、錆止め塗装
のうえDP塗装

縦樋：撤去（VU100φ）及び
新設（VP100φ）
樋落し口、樋受け金物（SUS製）共

シャッター・シャッターボックス：
下地調整、錆止め塗装
のうえDP塗装

ガラス清掃
ガラスとめシーリング打換え

コンクリート基礎立上り：
高圧洗浄（30～50MPa）

ガス配管（25φ）、支え金物：
下地調整、錆止め塗装
のうえDP塗装

本工程対象を示す

西側立面図 1:100

東側立面図 1:100

7Mカバー：清掃

ルーフ基礎立上り鉄部：
下地調整、錆止め塗装のうえ
DP塗装

笠木カバー鉄板：
下地調整、錆止め塗装
のうえDP塗装

外壁中波スレート：
水洗い工法（15MPa）の上
アクリルゴム系塗膜防水塗布

縦樋：撤去（VU100φ）及び
新設（VP100φ）
樋落し口、樋受け金物（SUS製）共

水切り：
下地調整、
錆止め塗装
のうえDP塗装

コンクリート基礎立上り：
高圧洗浄（30～50MPa）

キャットウォーク（鋼製）：
撤去のうえ、
壁接続部分シーリング補修（MS-2）

軒樋：撤去及び新設
180角型（硬質塩化ビニール製）
樋受け金物（SUS製）共

縦樋：撤去（VU100φ）及び
新設（VP100φ）
樋落し口、樋受け金物（SUS製）共

笠木カバー鉄板：
下地調整、錆止め塗装
のうえDP塗装

シャッター・シャッターボックス：
下地調整、錆止め塗装
のうえDP塗装

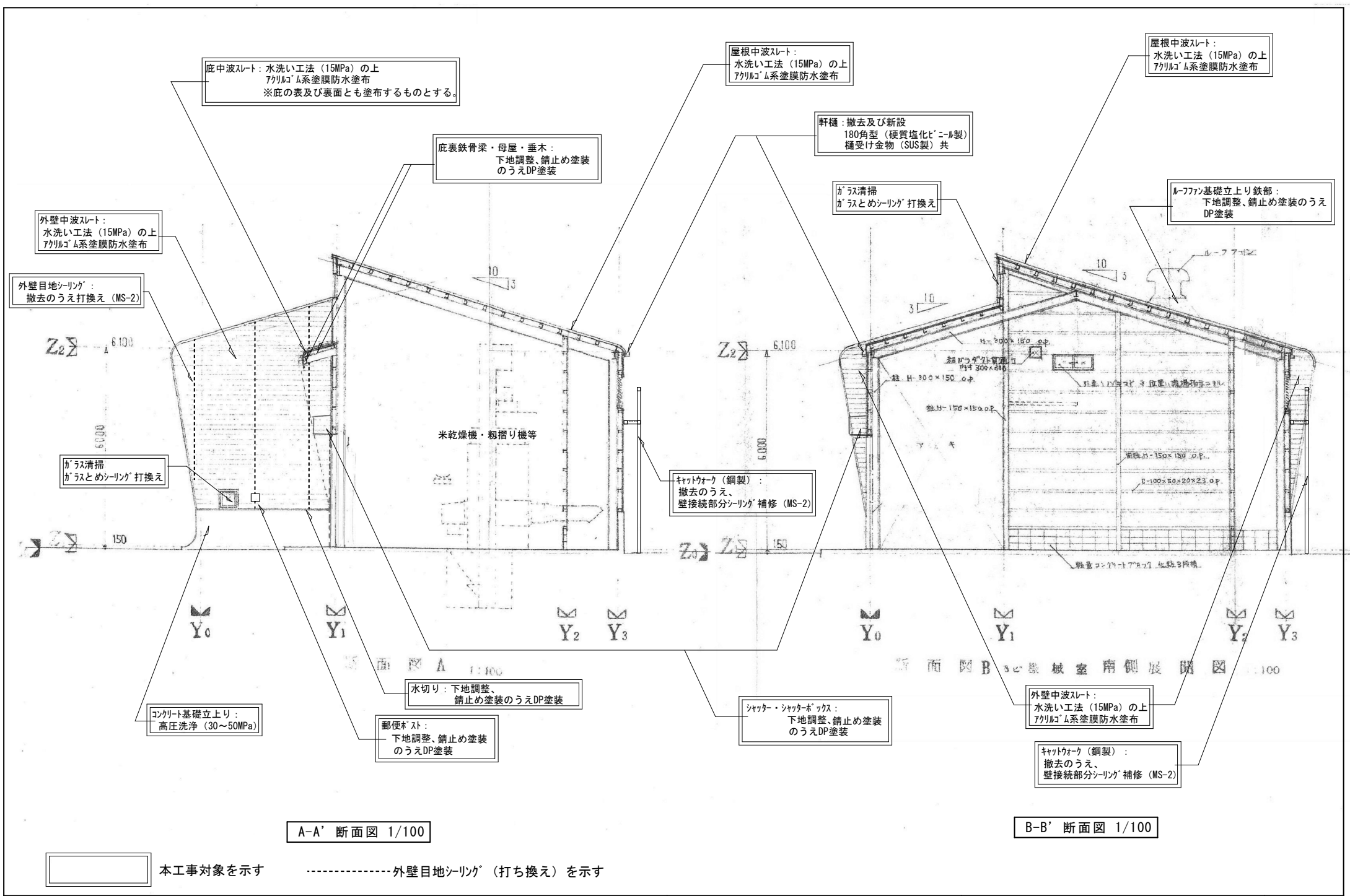
鋼製フードカバー（200口）：
下地調整、錆止め塗装のうえDP塗装

建具清掃

車止め：下地調整、
錆止め塗装
のうえDP塗装

コンクリート基礎立上り
ひび割れ部分補修：
エポキシ樹脂モルタル充填工法
鉄筋部分下地調整、
錆止め塗装共

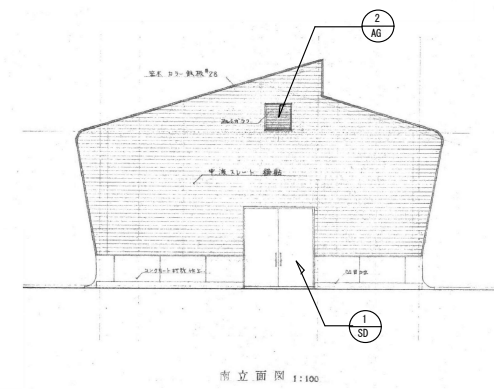
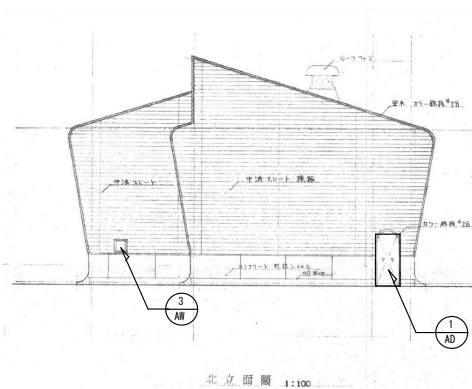
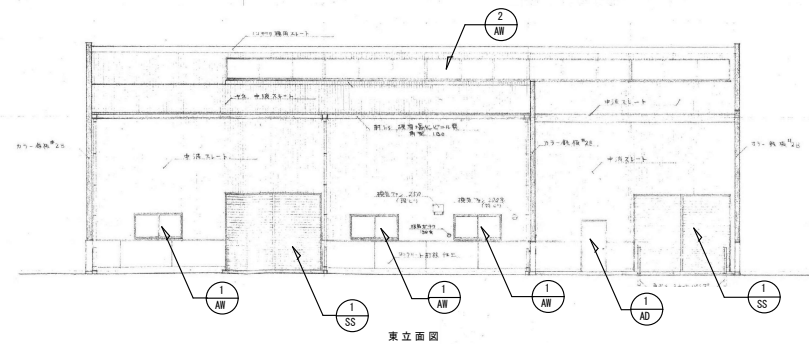
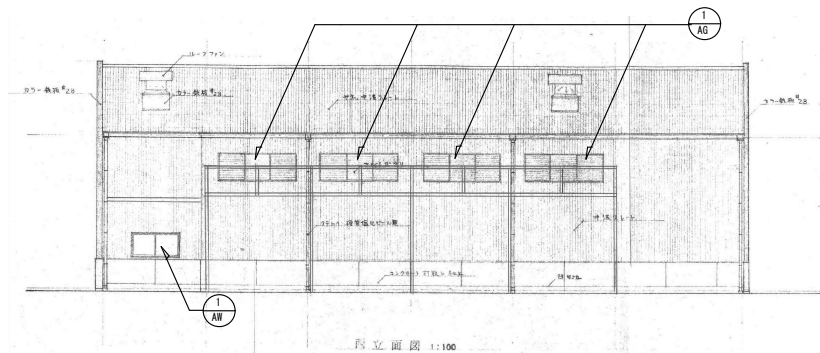
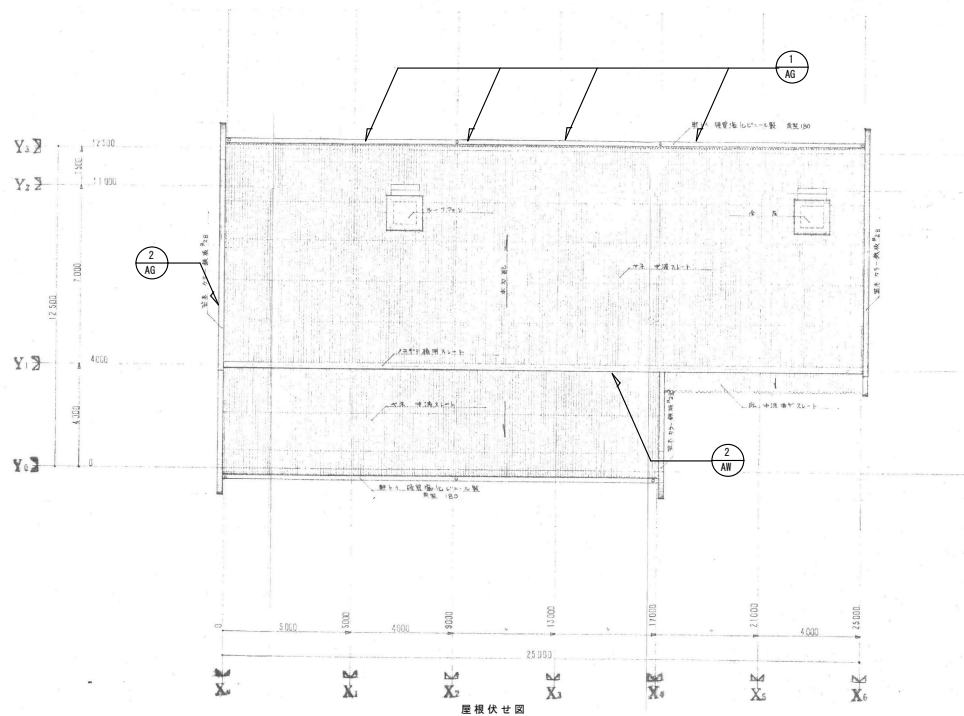
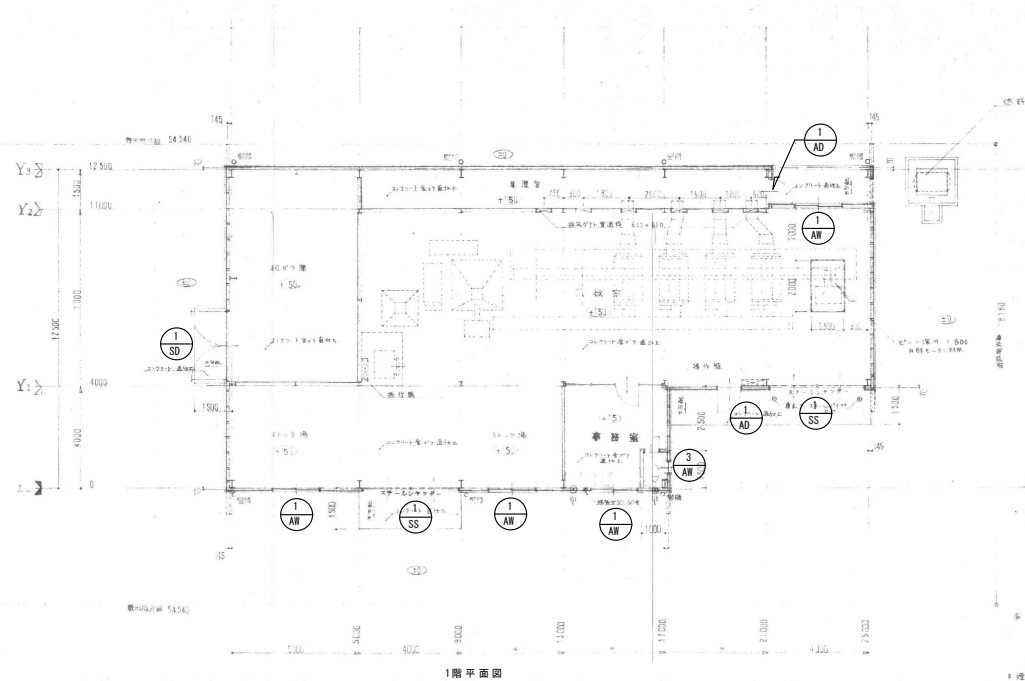
コンクリート基礎立上り
爆裂部補修：
エポキシ樹脂モルタル充填工法
鉄筋部分下地調整、錆止め塗装共



A-A' 断面図 1/100

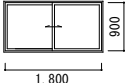
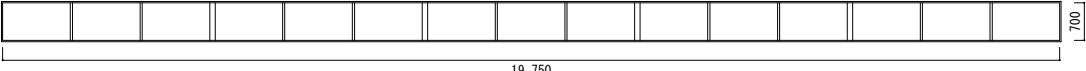
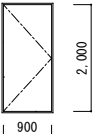
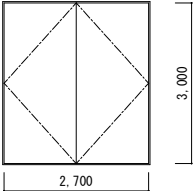
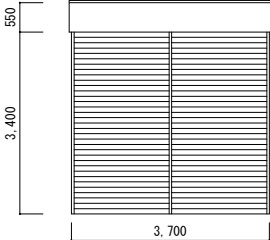
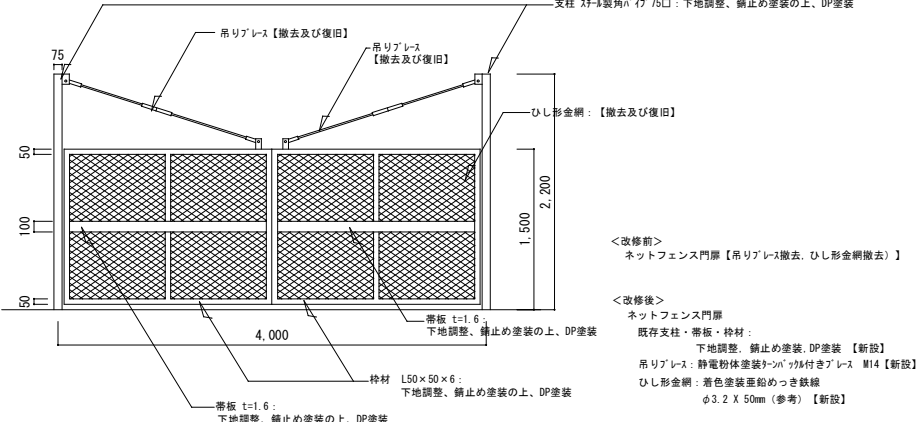
B-B' 断面図 1/100

本工事対象を示す -----外壁目地シーリング（打ち換え）を示す



【特記事項】
 ※記号表記の建具は本工事対象を示す
 ※工事内容は「建具表・雑詳細図」を参照

【特記事項】
※下記建具及びフェンス門扉は本工事対象とする。なお、位置等については「案内・配置図」「キープラン（平面図）、キープラン（立面図）」を参照

符号・数量	 アルミ製引違いサッシ 網戸付	4 (数量)	 アルミ製嵌殺しサッシ	1 (数量)
立面	 1/100		 1/100	
工事内容	ガラス廻りシーリング打替え(内外共) (SR-1) 建具(ガラス共)内外共クリーニング		ガラス廻りシーリング打替え(外側) (SR-1) 建具(ガラス共)外側クリーニング	
符号・数量	 アルミ製にり出しサッシ	1 (数量)	 アルミ製片開きフラッシュ戸	2 (数量)
立面	 1/100		 1/100	
工事内容	ガラス廻りシーリング打替え(内外共) (SR-1) 建具(ガラス共)内外共クリーニング		建具内外共クリーニング	
符号・数量	 スチール製両開きアングル戸	1 (数量)	 電動式スチールシャッター	2 (数量)
立面	 1/100		 1/100	
工事内容	扉のみ撤去及び新設・塗装 ・扉：新規面（素地ごしらえ（工程B種）、錆止め塗装（工程A種）のうえDP塗装（両面）） ・既存建具枠：塗装え面（下地調整、錆止め塗装のうえDP塗装）		DP塗装（シャッター・枠・シャッターボックス共）	
ネットフェンス門扉詳細図 1/50				
 支柱 スチール製角パイプ 75□：下地調整、錆止め塗装の上、DP塗装 吊りブレース【撤去及び復旧】 吊りブレース【撤去及び復旧】 ひし形金網：【撤去及び復旧】 帯板 t=1.6：下地調整、錆止め塗装の上、DP塗装 枠材 L50×50×6：下地調整、錆止め塗装の上、DP塗装 帯板 t=1.6：下地調整、錆止め塗装の上、DP塗装 ＜改修前＞ ネットフェンス門扉【吊りブレース撤去、ひし形金網撤去】 ＜改修後＞ ネットフェンス門扉 既存支柱・帯板・枠材： 下地調整、錆止め塗装、DP塗装【新設】 吊りブレース：静電粉体塗装3mmパッキン付きブレース M14【新設】 ひし形金網：着色塗装垂れめっき鉄線 φ3.2 X 50mm（参考）【新設】				

※敷地西側の隣地は本工事期間中も使用中であり、隣地所有者等の通行があるため、十分な安全対策等を施し安全の確保を図ること。

